

令和6年度第1回大阪府地方独立行政法人
大阪府立環境農林水産総合研究所評価委員会
議事要旨

- 1 日 時 令和6年8月1日（木）午前10時00分から午前12時00分
- 2 場 所 （地独）大阪府立環境農林水産総合研究所3階大会議室
- 3 出席委員 吉井委員長、藤山委員、川原委員、奥本委員、黒田委員、亀井専門委員
- 4 議事内容

(1) 令和5事業年度の業務実績に関する評価について

- ・事務局より資料2-1から3-5に基づき、令和5事業年度の業務実績評価案について説明を行い、了解を得た。

<主な意見>

- ・府内で広がりを見せている大阪での牡蠣養殖や陸上養殖等に関する漁業者への技術指導等により、横のつながりが構築されるようになり、この点は評価したい。引き続き、大阪の環境に適応する養殖技術等の指導はもとより、これら取組の府民認知度の向上、今後のさらなる発展など、長期的な視点での広報や調査研究にも取組まれない。
- ・農業大学校にあっては、オープンキャンパスの実施やInstagramの開設など学生確保に向けた取組を進められているが、農大の強みを前面に出した広報や、新たに農業関係の高校以外にも広報対象を広げるなど、更なる工夫を検討されたい。また、途中退学者の減少に資するようカリキュラムの充実、卒業後の定着に向け卒業生の適切なフォローも引き続き行われたい。
- ・ブドウの産業振興に向け大阪オリジナルぶどうの「虹の雫」の研究や普及に取組まれているが、さらなる大阪ブドウの認知度向上に向け、新品種育成の苦労等、ストーリーのある広報を行う等、工夫を図られたい。
- ・女性職員の活躍推進に向け、所内で設定した目標達成に向け取組を進められたい。

(2) 第3期中期目標期間の業務実績に関する評価について

- ・事務局より資料4-1から4-2に基づき、第3期中期目標期間の業務実績に関する評価案について説明を行い、了解を得た。

<主な意見>

- ・SNS等のツールを用いた広報について、ターゲットを意識するよう工夫されたい。
- ・府民に身近な「食」において、所内部門間の連携のもと、商品化支援やPR等の充実を図られたい。
- ・食品分析や民間企業の商品開発支援等の実施にあたっては、消費者を意識して取組を進められたい。
- ・令和8年（予定）の「全国豊かな海づくり大会」などの機会も活用し、大阪らしい農水産産物のさらなる研究を進められたい。
- ・農林水産業に関心を持つ人の裾野を広げるため、小中学生等をはじめ、幅広い世代への教育・普及活動に引続き尽力されたい。

(3) その他

- ・特になし

以上